

あか ばとう
よみがえる赤羽刀—米沢ゆかりの刀剣—

昭和20年(1945)8月、太平洋戦争の終結により、連合国占領軍は日本の武装解除の一環として、国内の刀剣類を接収しました。この内、多くは廃棄されたり海外へ流出しましたが、接収された一部が赤羽(東京都北区)にあったアメリカ第8軍兵器補給廠に集積されました。

2年後の昭和22年、当時の刀剣関係者の尽力により、この中から美術的価値のある刀剣については返還されることになり、約5,500口余が選別され、東京国立博物館に移転。これらの刀剣類は接収時の保管場所にちなみ「赤羽刀」と総称されています。その後、所有者が判明した一部については返還されましたが、大多数は最近に至るまで東京国立博物館の収蔵庫に眠ったままでした。

終戦50年に当たる平成7年(1995)、議員立法により「接収刀剣類の処理に関する法律」が成立し、文化庁ではこの法を受けて、旧所有者が判明した刀剣類については返還し、残りの赤羽刀については一旦、国庫に帰した後、全国の公立の博物館等へ無償譲与、活用・公開されることとなりました。

当館では、郷土刀加藤系、赤間系を中心に37口の譲与を受け、平成14年から随時修復を行ってきました。無銘のものを除き、20口の修復を終えたことから、本展ではそのお披露目をするともに、館蔵の刀剣、古文書、古記録などを加え、江戸時代後期から明治にかけて作刀された新々刀の歴史をたどりながら米沢の刀鍛冶系譜をご紹介しますものです。

主な出品資料

- 脇指 銘 加藤助太郎綱英 父国秀影／文化五年四月
- 太刀 銘 奉納延貞経 羽州米澤臣加藤玄壽造之／同姓長運齋綱俊造之 天保二年四月吉日
- 刀 銘 羽州米沢住赤間綱信／弘化四年十二月吉日嫡子同姓源直信
- 刀 銘 羽州米沢住石黒綱倫
- 鏡 銘 加藤綱俊 是俊造之／安政六年三月吉日 (山形大学附属博物館)
- 水心子正秀門人帳 (刀剣博物館)
- 『刀剣辨疑』 (刀剣博物館)
- 『剣工秘伝志』 (刀剣博物館)
- は赤羽刀 (記載のないものは 所蔵 米沢市上杉博物館)

募集制ワークショップ

2月10日(金) 19:00～
「ナイトツアー」
ようこそ夜の博物館へ 刀剣のみかた」
対象 高校生以上 参加費 500円
※申込受付開始 1月18日(水)

オープニングギャラリートーク

1月28日(土) 14:00～

「日本刀の魅力」 米沢市教育委員会文化課長 村野隆男氏

※要展示室入場券

■入館料

企画展のみ 一般400(320)円 高大生300(240)円 小中生200(160)円
常設展セット 一般600(480)円 高大生400(320)円 小中生250(200)円
(20名以上の団体料金)



■JR米沢駅から2km、上杉神社隣接
■市内南端(バス「上杉神社前」下車)
■市内中心部(上杉神社前)徒歩5分、下車
■山形県立文化センターよりR13で5分

伝国の杜
米沢市上杉博物館

〒992-0052 山形県米沢市丸の内1-2-1
TEL 0238-26-8001 FAX 0238-26-2660
http://www.denkoku-no-mori.yonezawa.yamagata.jp

次回展覧会

特別展
「上杉鷹山の
財政改革」(予定)
2012.4月14日(土)
～6月3日(日)

国宝 上杉本洛中洛外図
原本展示(予定)
2012.4月21日(土)
～5月22日(火)

あきたま離回廊

2012年2月1日(水)～
3月31日(土)

館内で享保庵、相良人形の
展示や壁に関連したイベント
を開催します。
詳細は当館ホームページ等で
お知らせいたします。

置賜文化ホールからのお知らせ お問い合わせ 0238-26-2666

2012年
1/29(日) 14:00開演 親子でたのしむ音楽会
子供のためのオペラ「ハンセルとグレーテル」と
～米沢のアマチュアオーケストラによるコンサート～
入場料 全席自由 高校生以上前売500円 当日800円
中学生以下無料 (ただし、整理券が必要です。)
チケット発売中 ※FC会員割引なし

2/2(木) 18:30開演 ブラスクインテット・ウィーン＝ベルリン
入場料 指定席3,000円 自由席一般2,500円
自由席学生1,500円 (当日各500円増)
※未就学児の入場はご遠慮ください。
託児有 (事前申込が必要です。)
チケット発売中

2/19(日) 14:00開演 桂歌丸独演会
入場料 全席指定3,500円 (当日4,000円)
チケット発売中
※未就学児の入場はご遠慮ください。
託児有 (事前申込が必要です。)